

学校教育目標	「コミュニケーション能力を身に付け、主体的に学習する生徒を育てます。」			
	○思いやりの気持ちを大切にし、心の豊かさを育みます。 【徳】 ○向上心を持ち、麦のようにたくましく生きる力を高めます。 【知・体】 ○想像力を豊かにし、社会に貢献する姿勢を養います。 【公・開】			
R4.4.1				

学校概要	創立 75 周年	学校長 山口 毅	副校長 森 康昭	3 学期制	一般学級: 19	個別支援学級: 6
	児童生徒数:	722 人	主な関係校: 生麦小、岸谷小、寺尾小、上寺尾小、東台小			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	生麦中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
◎自立のための基礎力 ◆想像する力 ・先を読む力(計画力)・伝える力(発信力)・聴く力(傾聴力)・関係を理解する力(状況把握力) ◆やりとげる力 ・進んで取り組む力(主体性)・あきらめない力(実行力)・ルールや約束を守る力(規律性)	生麦中学校 生麦小学校 岸谷小学校 寺尾小学校	学習や生活の良い習慣を身に付け、自分の力を伸ばそうと努力する子ども 「まち」と関わり合いながら学び、「まち」を大切に子ども ○生徒が主体的に取り組む授業実践の推進 ○「岸谷祭」「旧東海道祭」など「まち」で開催される行事への生徒参画機会設定 ○中学校ブロック内小学校を招く「文化・スポーツ交流会」(生麦カップ)の実施 ○小中合同授業研修会(道徳)と小中一貫教育推進会議の実施

中期取組目標	○「想像する力」、「やりとげる力」からなる「自立のための基礎力」を育成します。 ・互いを認め合い、コミュニケーションを発揮する力、関係を理解する力を育成します。 ・授業づくり(改善)の視点を充実し、生徒が主体的に学習に取り組む態度を育成します。 ・地域活動に積極的に参加し、「まち」とのつながりを強め、地域社会に貢献できる力を育成します。 ・カリキュラムマネジメントを通して、学校の教育力を向上させます。
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	授業づくり	①協働的な学びを目指し、活発なコミュニケーション活動やグループワーク等の言語活動を伴う知識を深める学習活動を引き続き充実させる。 ②コロナ禍における発話以外の言語活動等の活動方法や活動場面の工夫を継続していく。
担当	学習指導部	
徳	人権教育	①豊かな心の育成を目指して、道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を推進する。 ②全職員で行う授業研修を継承し、道徳教育のさらなる充実を図る。 ③「環境福祉委員会」の指導を通し、生徒主体で人権的な問題を考えられるような活動を推進する。
担当	道徳指導部	
体	健康教育	①基本的生活習慣の定着と健康安全についての理解を深めるために、正しい生活リズム(食事や睡眠等)を中心に健康教育の充実を図る。 ②体力向上に向け、生徒一人ひとりが課題に取り組める活動を推進する。
担当	保健安全指導部	
公開	キャリア教育	①キャリアパスポートを活用し、今後の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を充実させる。 ②学校行事や地域行事を学年の枠を越えて行うことを通して、よりよい人間関係を形成する。
担当	特活指導部	
いじめへの対応		①いじめに対して理解を深め、いじめ認知が適切にできるよう職員の意識を高め、組織体制や対応についての確認や見直しを継続的に行うとともに、いじめ防止基本方針の現状に即した見直しを行う。 ②相手の立場に立って心情を「想像する力」を、日常生活で培えるよう生徒に場面に応じた指導・助言する。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		①研修計画を立て、職員全体が意欲的に参加できるよう、各部との連携を取り研修を引き続き行う。 ②今年度、感染症対策の一環で行うことが難しかった小中一貫の取り組みを充実させていく。
担当	研究部・メンターチーム	
生徒指導		①教育相談日を設けることや日ごろからの声かけを通して、生徒一人ひとりに寄り添った生徒指導に組織的に取り組む。 ②生徒指導研修会を実施し、生徒についての情報共有をすることを通して組織的な対応を行う。
担当	生徒指導部	
特別支援教育		①一人ひとりを尊重した支援の実践に努める。 ②教職員間の情報共有を大切にしながら、チームとして支援にあたる。 ③「特別支援室」を安心して過ごせる居場所にする。
担当	特別支援教育推進委員会	
地域協働活動		①地域の行事等に参加し、連携を図る。②学校運営協議会等を開催し、学校教育目標の具現化に向け、意見交換などを行う。③教育振興会(本部・校内・広報・校外)と連携を図り生徒のためにできることを考えていく。④学校、家庭、地域の情報共有の場を積極的に設ける。
担当	教務部・渉外部	